



社団法人 新潟青年会議所 50周年記念事業  
「未来へのアイデアコンテスト」  
優秀作品の事業化検討～「新潟ベッキオ橋構想」



2005年度社団法人新潟青年会議所  
次世代育成委員会



## 2. 事業化検討の対象について

---

- まちづくり部門、ひとづくり部門、子ども部門のそれぞれの優秀作品の内容を再確認した結果、構想の具体性や効果等の面から、まちづくり部門の最優秀作品の検討を行うべきとの結論に達しました。

### 最優秀作品

～新潟ベッキオ橋構想～

古町・本町・万代一体化新潟ジャンボモールで新潟の顔を！

- 優秀作品は添付の参考資料を参照

# 3. 事業化検討対象案の内容

- 政令指定都市を目指す新潟市に、顔になるところはどこであろうか。新潟市は周辺の市町村との合併が進んでいて、平面の広がりが出来るのはいいが、やはり核になるものが必要である。一昔前なら古町通り、2、3年前までなら万代界隈が新潟の中心であった。
- しかし今や、郊外の大型ショッピングセンターにお客を奪われて、この両地区とも集客力を欠き衰退の一途で核として機能せず、新潟の顔が見えにくくなっていく。であるなら、この地区をつないで一体化にすることはできないか。幸い両地区は歩いて30分程度のとても隣接した地域である。
- 万代橋と八千代橋の間に歩行者専用の橋を架け、古町から本町市場を通り、万代地区へとモールでつなげる。その橋上に小さな専門店街を開き、歩いてショッピングを楽しみながら橋を渡りたい。イタリア、フィレンツェのベッキオ橋のように。
- 現行の法律では橋の上に店舗を設置することは禁止されているようだが、政令指定都市になるのを機会に、解放特区を利用して法律の改正をはかり、新潟市の特徴ある顔としての核を作るのはどうだろう。中央の橋脚部分には小さなやすらぎ提を作り、信濃川を運行するウォーターシャトルの発着駅を設置すれば、まさに新潟の顔となり得る。
- 詳細は資料1参照

## 4. ベッキオ橋とは？

---

イタリア・フィレンツェのベッキオ橋は、富豪メディチ家の人たちが、雨の日でも傘をささずに対岸の教会まで行けるように架けたという贅沢な橋です。橋は2層になっていて、上の階は両岸をつなぐ回廊、下の階は、橋の建設費や維持管理費を負担した宝石商たちが軒を並べました。つまり、最初から店舗と住宅がある橋として計画されたのです。



## 4. ベッキオ橋とは？

---



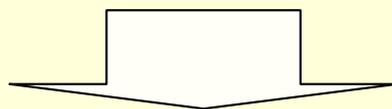
橋の上に常設の店舗や住宅があり、  
有力な観光スポットになっています。

# 5. 事業化の検討 - 1

---

## 橋を架けるための課題の確認

- 法律・許認可の問題 - 国土交通省、県、市との調整
- 土地収用
- 住民対策
- 信濃川の漁業権
- 橋が架かるまでの期間 - 工事期間で2年半、土地収用も入れると5年では済まない。
- その他（資金など） - 柳都大橋の事業費は300億、みなとトンネルの事業費は1200億円。



まず調整、時間がかかる。また、お金をだれが出すか？

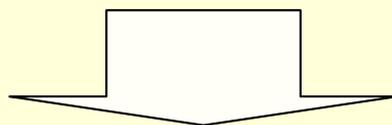
詳細は、資料2参照。

## 5. 事業化の検討 - 2

---

### 趣旨は町の顔を作ること

発案者の提案趣旨からいえば、あくまで目標は、「許認可をとること」、「予算を獲得すること」ではなく、「新潟の街」を一体化させ、『政令指定都市』新潟の顔を作ることであるが、橋を架けるといふ相当の予算を必要とする事業を行うことにより、その趣旨が本当に実現するのか、またどのようにすれば実現するのかという観点からの検証が優先課題と考えました。



地域住民に、実際に仮想ベッキオ橋を体験してもらおう

## 5. 事業化の検討 - 3

---

- 周辺の認知度と理解度のアップ、及びリサーチを目的として、プレイベント開催を第一の目標としたい。
- 具体的には、現在の新潟の顔ともいえる萬代橋を新潟の街一体化のシンボルとして活用するという案です。
- 萬代橋を時間を決めて車両通行止めにし、萬代橋の上で、朝市や展示会、フリーマーケット等のイベントを行います。勿論そこには、新潟の名産などを中心に特色を出せるものに限定すべきですが、市民のアイデアを募ることも一つの策でしょう。
- その上で、どのようなイベントを行うと古町万代間の交流が活発になるかなどの調査を行い、将来のベッキオ橋構想実現のためのリサーチとし、市民に理解を促していきたい。また、この案では、萬代橋誕生祭でのプレイベント開催などの可能性も考えられます。

## 5. 事業化の検討 - 4

---

### 萬代橋の上での各種イベント例

新潟市内各所の朝市を一堂に開催／萬代橋カフェ／にいがた総踊り／萬代橋チャレンジ  
ショップ／マンガストリート／萬代古町大綱  
引き／フリーマーケット／食の陣／スタンプ  
ラリー／ETC・・・

街の一体化という観点からは、古町～本町～礎町～萬代橋～萬代の人の流れを作ること重要であり、その観点からイベントを企画すべき

# 5. 事業化の検討 - 結論

---

この案についての課題としては、

1. 許認可の問題
  2. 橋の上での店舗開設の法的問題
  3. 現実に利用している道路を封鎖するための代替ルート
  4. 橋の上だけでなく、橋の兩岸（古町側では本町から礎町、万代橋のたもと）も歩いて行きたくなるようなモール化する必要がある。
- などが考えられますが、ゼロから橋を架けるよりも困難さは格段に下がると思われる。
  - 萬代橋を活用して新・新潟市の顔を作る取り組みを試行し、市民の間に気運を盛り上げていくことが、第一に必要と考えます。

# 資料 1 : 新潟ベッキオ橋構想の詳細

タイトル 新潟ベッキオ橋構想 発案者：太田悠子 様 主婦 新潟市在住

要約 古町・本町・万代一体化新潟ジャンボモールで新潟の顔を！

内容【新潟ベッキオ橋構想】

古町・本町・万代一体化新潟ジャンボモールで新潟の顔を！政令指定都市を目指す新潟市に、顔になるところはどこであろうか。新潟市は周辺の市町村との合併協議が進んでいて、平面の広がりが出るのはいいが、やはり核になるものが必要である。

一昔前なら古町通り、2、3年前までなら万代界隈が新潟の中心であった。しかし今や、郊外の大型ショッピングセンターにお客を奪われて、この両地区とも集客力を欠き衰退の一途で核として機能せず、新潟の顔が見えにくくなっている。であるなら、この地区をつないで一体化にすることはできないか。幸い両地区は歩いて30分程度のとても隣接した地域である。

万代橋と八千代橋の間に歩行者専用の橋を架け、古町から本町市場を通り、万代地区へとモールでつなげる。その橋上に小さな専門店街を開き、歩いてショッピングを楽しみながら橋を渡りたい。イタリア、フィレンツェのベッキオ橋のように。

現行の法律では橋の上に店舗を設置することは禁止されているようだが、政令指定都市になるのを機会に、解放特区を利用して法律の改正をはかり、新潟市の特徴ある顔としての核を作るのはどうだろう。中央の橋脚部分には小さなやすらぎ提を作り、信濃川を運行するウォーターシャトルの発着駅を設置すれば、まさに新潟の顔となり得る。

# 資料 1 - 2 : 発案者インタビュー内容

---

## ●応募アイデアについて

以前より考えていたアイデアで、暖めていたもの。応募機会があって良かった。

政令指走都市となるとヨーロッパ、フランクフルト（ドイツ）と人口規模が同じ位になるのではないか？新潟の新しい顔、昔のものにこだわらなくとも中心となり発信していけるまちづくりが必要だ。

## ●応募アイデアの内容確認

街の一体化を目的（古町と万代）とすると川がネックとなる→町の一体化→色々な波及効果→やすらぎ提の活用→新潟の顔（街の中心地の明確化）

## ●応募アイデアについての補足

昔から新潟に住んでおり（新潟島）県外から来る人にとって、新潟の中心街はどこなのか

解りづらい。万代方面を新潟の中心地と思われたくない。かといって今の古町は魅力が無い。

では、万代と古町が繋がれば良いのでは。万代と古町の一体化。歩いて行き来することが重要。

ゆっくりとあるいてみてまわれる街。そしてそこからの波及効果。

郊外型のSCは他の町にもあり新潟以外にもある。どこのまちもいっしょで中心にふさわしくない。

→今あるものにこだわらず新潟らしさがほしい→新しい物を作っても『政令指定都市』新潟の顔が必要。

## ●重要なポイント

ベッキオ橋を真似ては駄目。新潟の街を一体化するための一つの例であり、

新潟らしさを出すのが目的。何かの真似ではらしさにならない。

アイデアイメージをタイトル付けするためにベッキオ橋を引用したにすぎない。

# 資料2：橋を架けるための課題の確認

この構想実現にあたり、一番大きなハードルとしては現実的に橋を架けられるかどうかである。国、県、市、地域住民の問題は当然として、他にも景観条例、収用、漁業権など超えなければならない課題について検討した。

## 1. 法律・許認可の問題

- 信濃川は一級河川なので国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所との協議を経ての許認可が必要となる。
- 県道・市道とのアクセスも必要になると思われるので、各々の道路管理者である新潟県・新潟市との協議・許認可も必要となる。
- 例えば新潟市が橋を整備するとして、市の行政財産の上に民間の店舗ができるような話であり行政財産の目的外使用とか諸々の問題が考えられる。

## 2. 土地収用

- 堤防と堤防を結ぶだけの形式・構造も考えられるかもしれないが、提案の趣旨である古町・本町・万代と繋がる歩行者ルートを確認しようとするなら、兩岸の取り付け道路（スロープ）が必要となり、用地買収が必要となる。
- 柳都大橋の事例を見てもわかるように、移転・移設のためにはかなりの時間を要し、莫大な補償費が必要となる。

## 3. 住民対策

- 上記土地収用と同様に、車や人の流れも変わり、住民の既得権を侵す話となり、同意を得るにはかなりの時間を要するものと思われる。

## 4. 信濃川の漁業権

- 工事期間中は内水面漁協（漁業協同組合）に対し漁業権の補償が発生する。
- 船の交通権に対しても何らかの補償費用が出るものと思われる。
- この関係から橋脚のスパンとして70m程度を確保するよう指導があると思います。（構造的に費用が嵩む要因となる）

## 5. 橋が架かるまでの期間

- 例えば20m幅員とし、歩行者通行部分を5m両側に店舗が張り付くような形式を考えた場合、工事期間だけで2年～2年半程度、工事費として20～30億程度は要すると思われる。
- これに計画に要する期間や住民対策・用地交渉に要する期間を考えると状況にもよるものの5年では済まないのではないと思われる。

## 6. その他

- 国交省は条件さえ整えばOKを出すだろうが、一番の問題は誰がお金を出すかということである。
- ちなみに、柳都大橋ができる以前から万代橋の渋滞緩和策として万代橋の歩道を潰し6車線化し、歩行者専用の橋を伊勢丹前の道路から対岸へ架ける案も挙がっていたとのこと。
- 橋の両側に店舗を貼り付けるような計画とすると、通常ではあまり考えない給排水やガスを引くような設備も必要となり更に費用が嵩む話になる。
- 橋はできたとしても魅力的な店などのコンテンツがないと人は集まらない。
- 柳都大橋の事業費は約300億、みなとトンネルの事業費は約1200億円。（新潟日報HPより）

2005年度  
 所議青年會  
 新青人會  
 理事長 小林 太  
 自律した人間力開発室  
 室長 佐藤 実  
 次世代育成委員会  
 委員長 高田 信二  
 副委員長 長谷川 孝幸  
 副委員長 大澤 博之  
 幹事 石田 直樹  
 委員 椎谷 周平  
 委員 龍澤 康雄  
 委員 蒲澤 崇学  
 委員 小田島 晴一  
 委員 山本 英栄  
 委員 本間 悟司  
 委員 川井 一雄  
 委員 森岡 太郎  
 委員 中野 将人  
 委員 横木 平川 覚

# 参考資料：未来へのアイデアコンテスト優秀作品紹介

---

## まちづくり部門

### 優秀作品

タイトル「水と融合する町」

発案者：沢野美希 様 新潟ビジネス専門学校 西蒲原郡在住

新潟といえば米、酒が有名であるが、おいしい米、酒が出来るのは、清らかでおいしい水が豊富にあるからである。しかも、新潟には、日本一長い信濃川が流れている。  
そこで「水と融合するまち」を提案する。「水と融合するまち」とは、植物・動物・芸術・建物等の様々なものと水とを、何かしらの形で融合させることである。  
例えば、水が流れたり、噴水のように出てきたりする芸術物を街の所々につくったり、オフィスビルの一階、一階に必ず水槽や、人工滝を設置したりする。  
そうすることにより、観光地としての活性化にもつながるし、視覚的、更に最近はやりのマイナスイオン効果により、街の人々も心身共に豊かになることができる。

### 優秀作品

タイトル：100%ORANGE -新潟新型夕方計画-

発案者：高橋夏子 様 新潟デザイン専門学校 新潟市在住

新潟といえは、美しい夕日の沈む街です。夕日=オレンジな新潟なまちづくりとして提案するのが、「100%ORANGE -新潟新型夕方計画-」です。

- 夕方4時から日本海へと向かうバスの運賃を安くする。
- 夕方遊びから帰る子供達が安全に帰れるようなまちづくり（街灯を増やすなど）
- 市街地から夕日が望める「ORANGE TOWER」を新名所に
- 「TEAM ORANGE」を結成 ゴミのない綺麗な海岸をつくるために活動
- オレンジといえばアルビレックス。

街をあげてより一層応援オレンジは活気のある色です。そんな色で街をおおい、盛り上げてゆきたい。

## ひとづくり部門

**最優秀作品** タイトル：グローバルな人づきあい

発案者：鈴木昌吉 様 新潟デザイン専門学校 新潟市在住

最近の人達は親族や学校、同じ職場の人間達としか関わり合っていないと思う。もし他人と関わろうとしても、それが怖くてできない人が大勢いると思う。このままでは社会が機能しなくなるのではないかと私は危惧する。そのような現代社会の問題を改善するためには、やはり子供のころから人づきあいを広げていく必要がある。そこで提案したいのは小学校で週1回の他校での授業である。こうすることにより、慣れない環境に身を置くことにより、人と人とのコミュニケーションが自然と身に付いていくことがねらいである。

---

**優秀作品** タイトル：ガイドボランティア養成講座

発案者：野上武史 様 公務員 新潟市在住

市内の観光案内、名所案内、史跡案内、交通案内、建物案内、行政案内。とにかく新潟市内のことなら何でも（あるいは特定テーマのみ）誰にでも案内出来る人を創る。

どのような人でも講座に参加でき、一定の研修を終えたら資格認定を行う。自らの励みにもなり、誇りに思えるようになることを希望します。要所に居て案内する。市外、県外の人にはもちろん、学校の総合学習にも対応できるはずです。

また、そのようなガイドボランティアがいることを市内各所や機関で宣伝し、外部に発信する。そのことで、将来の新潟をになう人を育成することになるはずです。

## ひとつづくり部門

### 優秀作品 タイトル：趣味・仕事お気軽体験広場の創設

発案者：石田雅義 様 新潟大学理学部非常勤講師 新潟市在住

「ひとつづくり」は「つくられる人材」本人の取り組み意欲が重要です。興味のある事柄や仕事は体験したいものですが、実際体験できる機会や場は非常に限られています。他方、伝統文化のお師匠さんやベンチャー企業などでは少しでも興味を持つ方が居れば、来て体験してほしいと思っています。趣味の分野から仕事まで幅広く「体験できる場」があり、県民・市民が「その場」を気軽に利用できれば、交流効果によりその地域は大いに活性化されていくことでしょう。

当応募アイデアは広範囲・多分野に渡る「体験の場」を如何に創設し、運用していくかの方法を示すものです。そのイメージは「研修生体験（インターンシップ）制度」と「出会い系サイト」の両機能を合わせもった組織を創設しようとするものです。個々の企業やカルチャーセンターでは時折個別に体験教室を開催しますが、不定期で局所的で、特に個人が実施するケースでは殆ど一般に知られないのが現状でしょう。年間を通し多くの個人・企業・団体が行なう「体験の場」開催を積極的に支援し情報公開していく仕組みは、未来を支える人材育成の「ひとつづくり」に大いに役立つものと思います。当「趣味・仕事お気軽体験広場」は三者により構成されます。それぞれの立場の主な役割と運用案の概要は次のとおりです。（期間や額などは便宜的に参考値を示したものです）

- 1 「広場運営者」：求人求職時の「ハローワーク」的立場の非営利団体組織で、「趣味・仕事お気軽体験広場」を運営します。例えば新潟青年会議所内に設置して頂ければより実現可能な具体案となります。
  - 1.1 「体験受入れ者」を募集し、利用参加者に情報を提供する。
  - 1.2 「体験受入れ者」の登録は半年単位とし登録料を徴収する。登録料は企業・団体が1,000円、個人が500円程度とし広場の運営資金として使用する。
  - 1.3 体験・研修の開催概要はホーム・ページなどで一般公開する。
  - 1.4 体験・研修の内容詳細や申込み先（連絡方法・担当者名）は利用参加者からの問合せに対して回答するものとする。回答は無料で実施する。
  - 1.5 利用参加者の住所・氏名・年齢・電話番号またはe-mailアドレスは伺うものとする。
- 2 「体験受入れ者」：求人求職時の「求人会社」的立場の方で、技能・技術を有する個人、企業、団体などです。例えば、三味線のお師匠さん、伝承文化の団体やサークル、企業・学校・各種団体などで、体験の機会を提供し、場合により研修や育成も担当します。
  - 2.1 登録目的は宣伝や人材確保、後継者育成の為であって良い。
  - 2.2 体験や研修の期間・内容は受入れ者の実状に合わせて実施して頂く。
  - 2.3 体験や研修は原則として無料で行なう。教材費がかかる場合は事前に利用参加者の了承を得ること。
- 3 「利用参加者」：求人求職時の「求職者」的立場の方で、学生や一般市民など個人が対象になります。
  - 3.1 体験、研修などの参加申込みは本人が直接「体験受入れ者」に対し連絡する。
  - 3.2 具体的、体験日程などは「体験受入れ者」に対し直接交渉可能。

## 子ども部門（タイトルのみ）

### 最優秀作品

佐渡まで続く橋！ 石川純大 君 附属新潟小学校3年

### 優秀作品

楽しいゴミ箱できれいな新潟を！ 小川可菜子 さん 新潟市立山田小学校4年

新潟の海に沈む海底水族館 城戸淳美 さん 附属新潟小学校6年

完全無農薬稲作栽培装置 木村 梓 さん 新潟市立山田小学校5年

新潟の街にモノレールを走らせよう！ 佐々木悠介 君 附属新潟小学校5年

ゴミがひとつもないきれいな海 佐野桃香 さん 附属新潟小学校3年

海底トンネル 渋谷咲樹 さん 新潟市立鏡淵小学校4年

ポップ焼き専門店 島田茉由子 さん 附属新潟小学校6年

でっかい木！ 山口健夫 君 附属新潟小学校6年

地下と地上で住み分ける町 山村萌子 さん 新潟市立東青山小学校4年

透明トンネルで暖かい新潟に！ 吉田桃子 さん 新潟市立新潟小学校5年